

研究室 からの メッセージ

101

後列左から 藤村、蘇武、岩渕、田口
前列左から 工藤、上林、三浦、堀籠、松川

Data (2013 年 1 月現在)

所在地：〒020-0193 岩手県岩手郡滝沢村滝沢字
巢子 152-52

スタッフ：三浦まゆみ(教授)、上林美保子(教授)、
工藤朋子(准教授)、堀籠ちづ子(講師)、松川久美
子(講師)、岩渕光子(助教)、田口美喜子(助教)、
藤村史穂子(助手)、蘇武彩加(助手)

URL <http://www.iwate-pu.ac.jp/>



岩手県立大学看護学部 環境・保健看護学講座

History and Now

どのような機関なのでしょう？

本学は岩手県で唯一の4年制看護系大学です。前身は1953年開設の岩手県立盛岡保健婦学院であり、その後1970年に創設された岩手県立衛生学院を経て、1998年岩手県立大学看護学部となりました。県内で活動する保健師の多くは前身である衛生学院出身者という状況から、本学の学生たちにも親近感を覚え、温かく迎えてくださっています。このような歴史の重みを受け継ぎつつ、在宅看護、家族看護、地域保健、学校保健という多分野を包括した講座の中で保健師養成を担当しています。

Education

どのような教育をしていますか？

本学部では、基礎看護の授業に自治体保健師の講義を取り入れたり、震災救護活動に携わった医師の講演を開催したりするなど、1年生から「地域」を意識させる教育体系をとっています。また、実習を意識した地域診断や家庭訪問、健康教育などの演習も取り入れています。

保健所、市町村、訪問看護ステーション、地域包括支援センター、事業所での実習をとおして多様な経験を重ねられるよう配慮しています。実習指導者および地域住民の学生に寄せる期待は大きく、それらの関わりから学生は保健師の活動イメージを醸成していきます。

Research

どのような研究活動を行っていますか？

一昨年の3月11日に起こった未曾有の震災は、地域住民はもとより被災地の看護職にも大きなダメージを与え、今もその傷は癒えていません。私たちは被災地の看護職の現状を捉えつつ必要とされている支援に取り組み、その成果の検証を行っています。

また、昨年度から新カリキュラムが導入され、保健師、助産師、養護教諭は選択制となりました。これを契機として保健師の専門教育を検討する研究を進めています。

Collaboration

保健活動の現場とのつながりは？

実習は学生だけでなく教員にとっても多くの貴重な学びの場と捉え、「実習情報交換会」を開催し、実習指導者と大学教員との密接な連携を図っています。

本学卒業生は11期生を数えるまでとなり、県内の自治体、保健福祉施設等に保健師として活躍する卒業生も増えてきていることから、「モントの会」(岩手県立大学を卒業した保健師の会)を立ち上げ、交流会の開催などの活動支援を行っています。

ひとこと

私たちの大学は地域に根ざした総合大学として、他学部との教育・研究分野での交流や地域貢献を盛んに行っています。看護学部では対象となる人とその家族、学校や事業所、地域社会といった環境への視点を持ちあわせた多角的な看護展開ができる「人づくり」をめざしています。

……上林

あなたの研究室を紹介してください！ 保健師ジャーナルでは、このページに登場してくださる研究室(保健師教育に関わる講座・分野・領域)を募集中です。研究室での保健師教育の特色や、研究活動、現場とのつながりを紹介してください。

応募について ●まず電話、FAX、E-mailにて編集室までご連絡ください。掲載分には医学書院特製図書カードを進呈いたします。

連絡先 ●医学書院「保健師ジャーナル」編集室 ☎ 03-3817-5774 FAX 03-5804-0485 ✉ hokenshi@igaku-shoin.co.jp